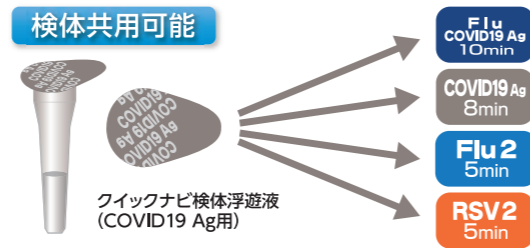


POINT 1

# SARSコロナウイルス 抗原キットと 同時検査が可能

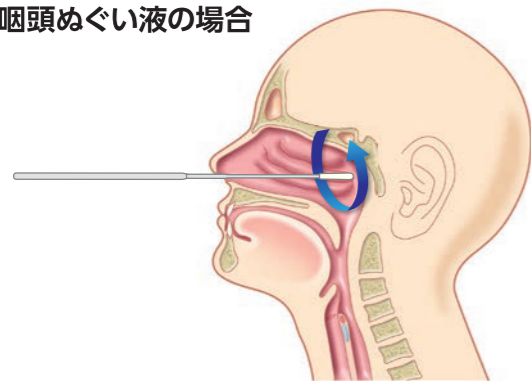


QuickNavi検体浮遊液 (COVID19 Ag用)を使用すれば、検体の共用が可能

検体	QuickNavi™-Flu2	QuickNavi™-Flu+COVID19 Ag	QuickNavi™-COVID19 Ag	QuickNavi™-RSV2
鼻咽頭ぬぐい液	○ ←	○ ←	○ →	○ →
鼻腔ぬぐい液	○ ←	○ ←	○ →	○ →

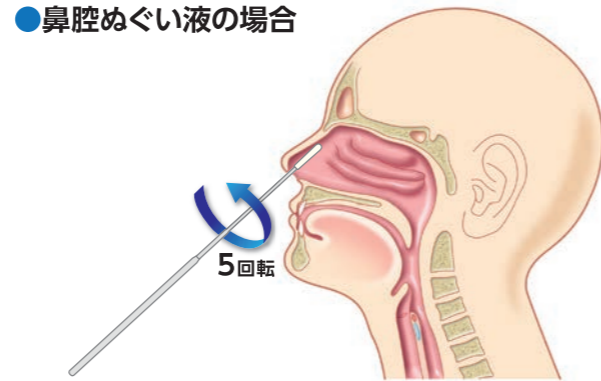
## 検体採取方法

### ●鼻咽頭ぬぐい液の場合



鼻腔用滅菌綿棒を外鼻孔から鼻腔に挿入し、鼻咽頭を数回擦過して検体を採取します。

### ●鼻腔ぬぐい液の場合



鼻腔用滅菌綿棒を外鼻孔から2cm程度挿入し、綿棒を5回転させ、5秒程度静置し、検体を採取します。

## ●本品付属の検体浮遊液は以下のQuickNavi™シリーズで共用可能

QuickNavi™シリーズ適用検体(○)と試料相互使用(←→)の関係は下記のとおりです。

検体	QuickNavi™-マイコプラズマ <sup>※1</sup>	QuickNavi™-アデノ <sup>※2</sup>	QuickNavi™-Flu <sup>※3</sup>	QuickNavi™-RSV2	QuickNavi™-Flu+RSV
鼻咽頭ぬぐい液 鼻腔吸引液	×	○ ←	○ →	○ →	○ →
鼻腔ぬぐい液	×	×	○ ←	○ →	×
咽頭拭い液	○ ←	○ →	○ →	×	×
鼻汁鼻かみ液	×	×	○	×	×

※1 QuickNavi™-Flu2およびQuickNavi™-アデノ2で咽頭拭い液から採取した試料をQuickNavi™-マイコプラズマにも使用する際には、主として咽頭後壁を充分に擦過した試料をご使用ください。  
 ※2 QuickNavi™-アデノ2で鼻咽頭ぬぐい液及び鼻腔吸引液を採取する場合は、別売の「Exスワブ002 (鼻腔用滅菌綿棒)」が必要です。  
 ※3 QuickNavi™-Flu2で咽頭拭い液を採取する場合は、別売の「Exスワブ001 (咽頭・角結膜用滅菌綿棒)」が必要です。  
 検体浮遊液は共通試薬で、試料ろ過フィルターは共通品です。

同一検体種の場合、採取した検体は別売品テストデバイスで検査が可能です。

POINT 2

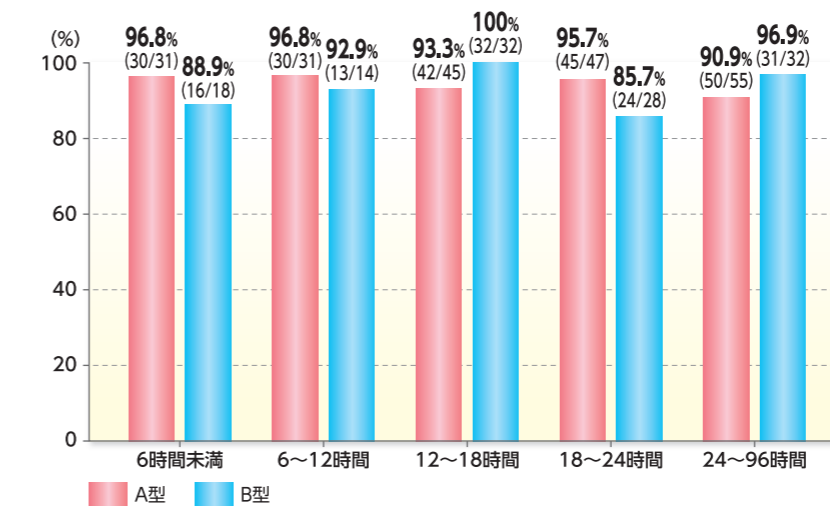
# 高い感度・特異性

## ■ウイルス分離培養法との相関性

一致率		鼻咽頭ぬぐい液	鼻腔吸引液	咽頭拭い液	鼻汁鼻かみ液
A型	陽性	94.8% (55/58)	95.3% (203/213)	97.0% (129/133)	97.3% (72/74)
	陰性	98.4% (187/190)	99.0% (302/305)	98.4% (543/552)	96.8% (245/253)
B型	陽性	97.8% (88/90)	90.8% (99/109)	96.4% (187/194)	93.6% (102/109)
	陰性	96.8% (153/158)	98.3% (402/409)	94.7% (465/491)	97.2% (212/218)
全体		94.8% (235/248)	94.8% (491/518)	93.4% (640/685)	93.0% (304/327)

(本品添付文書より引用)

## ■QuickNavi™-Flu2の発症経過時間ごとの感度(鼻腔吸引液および鼻腔拭い液)



## ■最小検出感度(例示)

### (1) A型インフルエンザウイルス

株名	PFU*/mL
A/Narita/1/2009(H1N1)pdm	1.7×10 <sup>2</sup>
A/Brisbane/59/2007	3.5×10 <sup>1</sup>

### (2) B型インフルエンザウイルス

株名	PFU*/mL
B/Malaysia/2506/2004	1.0×10 <sup>1</sup>

\* : PFU : Plaque Forming Unit (プラーク形成単位)  
(本品添付文書より引用)

インフルエンザ様症状を呈した患者を対象とし、発症(発熱時)から検査までの経過時間が記載されたウイルス分離培養陽性333検体の、発症から検査までの時間毎の本品の感度を集計した。

(市川正孝ほか: 医薬と薬学74(10)1299-1310, 2017 より引用)

## ●鼻腔ぬぐい液への培養ウイルス添加試験成績

検出限界(以下, LOD)付近の3濃度のA/New Caledonia/20/99の培養液又はB/Shandong/7/97の培養液7.5μLを鼻腔ぬぐい液を採取した綿棒の綿球部分に添加し、本品を実施しました。

培養ウイルス添加	試料中濃度 (PFU/mL)	検体数	本品A型陽性数	本品B型陽性数
A型インフルエンザウイルス	1 × LOD	20	20	0
	2 × LOD	20	20	0
	5 × LOD	20	20	0
B型インフルエンザウイルス	1 × LOD	20	0	20
	2 × LOD	20	0	20
	5 × LOD	20	0	20
未添加	0	20	0	0

(本品添付文書より引用)